

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 03 商業の振興

主管課：商工労働課

施策の目的

地域の特性を踏まえた個性的で魅力的な商店街づくりを補助・支援することで、市民が楽しく買い物ができるようにし、にぎわいのあるまちづくりを行い、商店街等中小小売商業の販売額の維持を目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商業者、商店街(振興組合等)

江別市全体の商業者の販売額を増加させる。
地元に着した商店街の売上が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
小売業販売額	億円	920	843	838	835	832	833	920
中小小売業(従業員5名未満)の販売額割合	%	11.4	-	-	-	-	-	11.4

施策の達成状況(25年度)

小売業販売額については、道内の大型小売店販売動向によると、昨年度に比べ全店ベース及び既存大型店では増加傾向にあるなど、持ち直しの動きが見られる。(平成25年度の実績値算出にあたっては、平成24年度実績値に北海道経済産業局・北海道大型小売店販売動向の札幌市(当市は札幌圏に属する)前年比1.1%を乗じている。

中小小売業(従業員5名未満)の販売額割合については、商業統計調査の数値を使用しているが、調査が5年に1度実施のため、平成19年の調査実施後は、平成26年の調査となるため平成27年以降でなければ数値の把握はできない。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,825,751	1,487,587	1,387,369	1,223,763	1,275,213
事業費(千円)	1,787,579	1,438,018	1,333,591	1,174,463	1,222,083
人件費(千円)	38,172	49,569	53,778	49,300	53,130

基本事業

01 商店経営の充実

基本事業の目的

店舗の改善や設備の近代化を進め、経営基盤を強化し、品揃えや品質などの魅力を高めます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商業者

経営基盤を強化させ、品揃えなどの魅力を高める。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

※()は、各年度の件数

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
店舗改善・経営改革した卸・小売者数 【初期値(H19) 前期4年間 3件(累計)】	件(累計)	—	5	6 (1)	8 (2)	8 (0)	9 (1)	7

基本事業の達成状況(25年度)

平成25年度に市の資金融資制度を利用した20事業所中、19事業所は商工業設備資金を活用した車両、機器購入等のための借り入れである。融資の審査の際は、300万円以上の融資に対し、企業の経営分析、収益性などを総合的に判断した江別商工会議所の企業診断書を添付している。また、店舗整備に要する借り入れは25年度は1件であり、融資を受けた店舗では消費者ニーズを踏まえた内装や設備改善を図り、売り上げ増に努力している。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,649,657	1,301,409	1,151,805	1,033,606	1,082,002
事業費(千円)	1,640,115	1,292,140	1,141,371	1,024,387	1,071,453
人件費(千円)	9,542	9,269	10,434	9,219	10,549

基本事業の目的

消費者にとって便利で魅力のある地域密着型の商店街づくりを進め、日常、地元の商店街で買物をする人の満足度を高めます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商店街(振興組合等)

商店街としての販売額を増やす。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
日常的に商店街を利用する市民割合	%	45.3	41.1	-	43.3	43.5	45.7	↗

基本事業の達成状況(25年度)

インターネット販売や個別宅配など販売形態の多様化により消費者ニーズが変化中、商店街が行う集客イベント等に助成するほか、国の事業を活用して街路灯のLED化や防犯カメラの設置など商店街施設整備といった取組に支援した結果、本成果指標は概ね達成した。

今後も商学連携など多様な主体や様々な世代が交流する地域コミュニティ拠点として地域の特性を活かした魅力づくりが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	143,968	143,177	185,840	142,293	144,364
事業費(千円)	132,350	131,893	173,399	133,876	133,817
人件費(千円)	11,618	11,284	12,441	8,417	10,547

基本事業

03 観光・イベントによる賑わいの創造

基本事業の目的

市民や商業者が協働して観光や地産地消の市内イベントを開催し、賑わいを創出・維持し、活性化を促進します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、商業者、観光客

観光・市内イベントによって賑わいや訪れる場があり賑わいが創出される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
観光入り込み者数	人	981,752	793,987	749,221	749,852	845,569	757,184	1,100,000

基本事業の達成状況(25年度)

平成21年度からの観光入込客数基準値の変更により、初期値より大きく減少している。平成25年度においては、前年度に比べ石狩川江別ゴルフ場の入込客減、道立自然公園野幌森林公園の特別展の未開催、町村ミルクガーデン開業効果やトンデンファーム週末イベント効果が落ち着いたことなどが入込客数の減少の要因となった。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	15,819	17,222	22,280	21,357	21,445
事業費(千円)	8,350	7,550	10,241	9,333	9,334
人件費(千円)	7,469	9,672	12,039	12,024	12,111